

## 道産食品独自認証制度の推進状況について

## 1 制度の趣旨等

- 北海道の豊かな自然環境や高い生産技術を活かして生産される、安全で優れた道産食品の認証制度を実施し、道産食品に対する消費者の信頼確保と北海道ブランドの向上を図る目的で、平成16年度から実施。
- 原材料や生産工程、衛生管理、官能検査など、独自に設定した基準をクリアした選り抜きの食品を認証。

## 2 認証の状況

- これまで21品目について認証基準を設定しており、認証機関がこの基準の適合状況について審査の上認証。

【認証基準の作成品目】

(☆印は、認証品のない品目)

H 1 6	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本酒</li> <li>・ハム類</li> <li>・ベーコン類</li> <li>☆ソーセージ類</li> <li>・ナチュラルチーズ</li> <li>・塾成塩蔵さけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そば</li> <li>・みそ</li> <li>☆ワイン</li> <li>・アイスクリーム</li> <li>・いくら</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納豆</li> <li>☆豆腐</li> <li>☆しょうちゅう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうゆ</li> <li>・醤油いくら</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生中華麺</li> <li>・塾成塩蔵からふとます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ビール</li> <li>☆非加熱食肉製品</li> <li>・魚醤油</li> </ul>

- これまで17品目、103品を認証してきているが、認証廃止品が8品目、43品あり、平成25年3月末現在の認証品は15品目、60品。

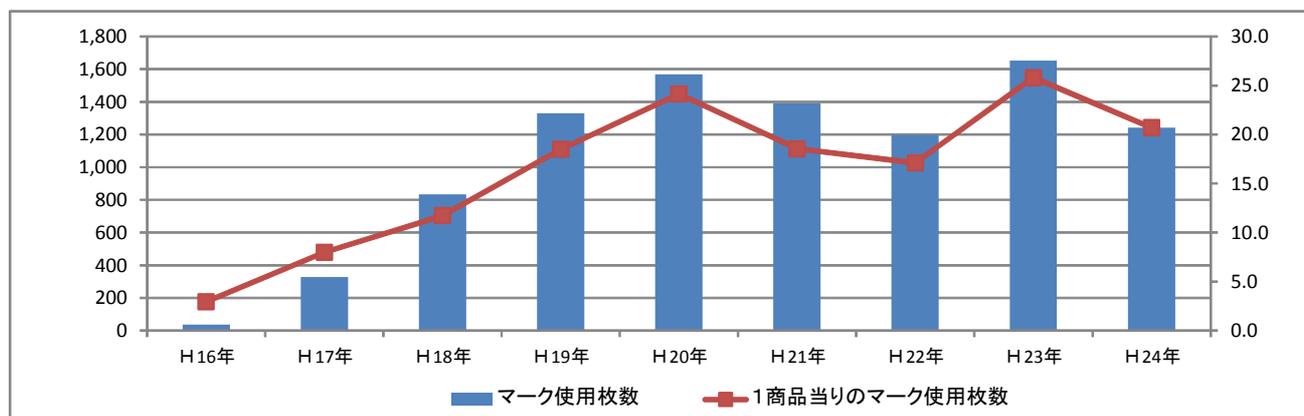
【認証品数の推移】

(単位：品)

	H 1 6	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
認証品数	1 2	4 1	7 1	7 2	6 7	7 5	7 1	6 4	6 0
認証品累計	1 2	4 1	7 2	7 7	8 2	9 5	1 0 2	1 0 3	1 0 3
廃止品累計			1	5	1 5	2 0	3 1	3 9	4 3

## 3 認証品の販売状況

- 認証マーク使用枚数の推移を見ると、平成20年度までは順調に増加しているが、その後は年度により増減。



#### 4 認知度

- ・ 道民意識調査においては、平成21年度のきらりっぷ認知度は 4.9%と低く、19年度調査における認知度 13.3%よりも低下。
- ・ 平成25年に実施した消費者協会会員に対するアンケート調査では、きらりっぷ認知度は44.6%、認証品の購入経験がある人は14.3%。

#### 5 制度に対する意見・要望等

##### ○ 認証事業者

- ・ 平成20年以降3回のアンケート調査を実施してきたが、認証取得による商品の信頼度の向上や商品提案のしやすさなど、販売面での効果があったとする回答（イ）の割合が徐々に増加。

平 25	ア 23%	イ 77%
平 23	ア 25%	イ 75%
平 20	ア 33%	イ 67%

- ・ 認証品を製造・販売する上で、原材料や認証取得費用などのコスト負担、保健所のHACCP評価の取得、販売促進などに苦勞。
- ・ 今後の販売促進に向け、他の認証制度との差別化や首都圏等でのPR活動の強化を求める意見が多数。

##### ○ 食品製造組合等

- ・ 認証品が少ない品目の組合等に対する面接で、認証取得費用などの負担等の問題が課題となっているとの回答。

##### ○ 消費者

- ・ 平成25年に実施した消費者協会会員に対するアンケート調査では、認証マークがあまり知られていないのもっとPRを求める意見が多数。